

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2157
研究開発課題名	進化的機械学習技術による人工光型植物工場の栽培条件の最適化
研究代表者	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授 長尾 智晴

総合評価

実栽培での評価には至らなかったが、得られた栽培条件下での収量目標達成の試算を実現し、目標は概ね達成したと判断できる。既存の機械学習とは異なるアプローチによる革新的な AI 技術を用いた取り組みとして、社会実装に向けて更なる技術的検証を進めることが重要である。AI と農業という異分野間の取り組みとなるため、今後の実証実験にあたり、適切な体制構築が必要となる。

以上